

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2 年 10 月 29 日

公表:令和 2 年 11 月 30 日

事業所名 児童デイサービス・アニマート桐生あいおい

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			基準以上のスペースを確保し、安心、安全に過ごせるように配慮しています。
	2	職員の配置数は適切である	○			適切です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			室内バリアフリーになっています。トイレに段差があるので、スロープ対応しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			入社時の新人研修、毎週の振り返り、必要に応じて活動会議・個別会議を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート調査で保護者様の意向を把握し、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による外部評価は行っていないですが、アニマート本部にて評価・業務改善に繋がっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			コロナウイルス感染症対策前は、研修の機会を確保していました。現在はアニマートみどりと合同で社内研修を定期的に行っています。今後の状況を見て、外部研修にも参加していきたいです。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用前の見学時や、その都度状況に応じて行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎月話し合いをして決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			活動予定表は、担当職員が意見を交わしながら工夫して計画しています。お子様の成長を確認する為にも、活動によっては固定化してある物もあります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			今回のコロナウイルス感染症対策の休校中は、子供たちの様子や天候等で判断して支援内容を話し合っていました。現在は通常通りの生活に戻り、平日・休日・長期休暇に応じて支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			ご家庭や学校との話し合いの中で、必要なものは個別活動の中に取り入れています。集団活動は全員参加が基盤となり、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日朝礼を行い、その日の工作・活動内容・役割について確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	○		その日の出来事や送迎時の保護者様との会話の内容を、情報共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援終了後に、一人ひとりの記録を記載しています。その都度気付き等あれば、職員間で情報共有し改善へと繋がっています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に一回行っています。計画書の見直しがあれば送迎時にお話をしたり、必要に応じて面談を行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			担当者会議前に、職員でカンファレンスを行っています。カンファレンスを元に児童発達支援管理責任者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			送迎時の申し送りや電話連絡にて、情報共有をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	医療的ケアの受け入れは行っていませんが、重要事項説明書に主治医を記載してもらい、連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			児童発達支援管理責任者が必要に応じて訪問や電話連絡を行い、利用機関との情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	○		アニマート桐生あいおいでは、卒業した児がいません。今後そのような場合は担当者会議を行い、支援内容を提供していきたいと思えます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		○	各機関と情報共有をしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	・現時点での交流は難しいですが、長期休暇や祝日を含め今後も検討していきたいと思えます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			各機関と連携をしながら参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日々の様子を連絡帳に記載し、送迎時に口頭でお伝えしています。発達や課題に関してもご相談させていただき取り組んでいます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			モニタリング時やその都度状況に応じて、児童発達支援管理責任者が行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に運営規定・重要事項説明書・契約書・利用者負担等について伝えています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			モニタリング時や必要に応じて行っています。また、帰りの送迎時やリムや電話でもその都度対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			コロナウイルス感染症対策前は保護者会を実施していました。今後、状況を見て検討していきたいと思えます。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情解決責任者・担当者を契約時にお伝えしたり、事業所の入り口に書面を貼っています。苦情があった場合は迅速に対応させていただいております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・月1回アニマート新聞の発行をしています。ホームページの更新ができていませんが、今後定期的に更新していきたいと思っております。
	35	個人情報に十分注意している	○			研修や日々の中で、守秘義務の厳守を徹底するように心掛けています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			必要に応じて写真等を使い、視覚から情報伝達できるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	○	現在新型コロナウイルス感染症対策にて、地域住民の方々を招待する事は難しいです。状況を見ながら買い物体験や図書館等を利用して、地域との交流を図っていききたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアルを策定しています。保護者様には感染症等の時期に手紙を配布していますが、緊急時の周知は必要だと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練を年2回行っています。事業所ではAED研修も行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			現在は内部研修を行っています。今後の状況を見て、外部研修にも参加していきたいです。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			危険時の対応については、放課後等デイサービス計画に記載をして保護者様の承諾を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アレルギーの児童に対して、保護者様の要望に沿った対応を行っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット報告書を作成しています。再発防止の為、全職員で共有できるようにしています。	